

H30試験課題と研究会の予測課題との比較一覧表(検証)

(1) 作図課題 (表1参照)

- ⇒配置図の試験課題は、グラウンド・スポーツ施設等の一角に位置し、それとの関連及び駐車場との動線が重視された課題であった。研究会の予測課題3は、周囲運動公園および駐車場との動線を重視した予測課題であり、傾向としては近いものであった。
- ⇒建設用地の試験課題は52m×32mであり、予測課題3は52m×35mと近いものであった。ただし、南側の歩行者専用道路は予測できなかった。
- ⇒要求室は、更衣室B以外は、ほぼ網羅できた。特に、プール450㎡とスポーツ施設200㎡は予測課題3で、更衣室A(120㎡2室)は予測課題2でそれぞれ㎡数まで同じであった。また、エントランスホール3層吹抜けは、予測課題3と同じ内容であった。
- ⇒カフェは、予測課題2で示しており、更に屋外テラスを隣接するところまで同じであった。また、コンセプトルームは、予測課題3で①提案型の屋内運動室、②健康プラザとして出題予測しており、全く同じ内容ではなかったが、方向性としては近いものであった。
- ⇒そのほか防火設備等の凡例、地盤条件(GL-1.8m以下良好地盤)、設備機械室の室内設置や受変電設備及び非常用発電機設備の屋上設置も予測課題で示している。

(2) 記述課題 (表2参照)

- ⇒「カルチャーセンター等との一体利用」は予測できなかったが、それ以外は、表2の通りほぼ的中した(8/9=89%的中)。

(3) まとめ

- ⇒研究会の予測課題の3案は、上記の通り作図課題(更衣室B以外ほぼ的中)及び記述課題(カルチャーセンター以外ほぼ的中)の両方ともに**80%以上の中**したと言える。
- ⇒試験元のセンターは、必ず予測し難い内容を組み込んでくる。H29、H28と予測し難い内容については的中することができなかったが、H30はほぼ予測できた(周囲運動施設及び駐車場との動線計画、エントランス3層吹抜け、コンセプトルーム、温水プール450㎡等)。

表1 各予測課題の比較一覧表

は試験課題で出題された内容と研究会の予測課題の内容が類似したものを示す(細かい数値等の違いは類似したとしている)。

各社	課題名	建設用地			指定床面積	東西南北の条件				要求室																			屋外テラス	屋外広場	駐車場			駐輪場	備考																			
		規模	横	縦		以上~以下	東	西	南	北	軽運動部門									共用部門						管理部門																												
		(㎡)	(m)	(m)	(㎡)~(㎡)					更衣室	プール	観覧用	屋内運動	更衣室2	エアロビクス	トレーニング	ヨガ	ダンス他	コンセプト室	マッサージ	他所室	測定室	医務室	健康相談	健康所室	スタッココーナー	スポーツラウンジ	受付ホール	休憩コーナー	エントランス	レストラン	カフェ	売店	会議室	ラウンジ	プラザ他	事務室	施設長室	会議室	休憩室	更衣室	指導控室	応接室他	設備室	(㎡)	(㎡)	車いす	利用者	サービス	(台)				
本試験	H30課題	1,664	52	32	2,300 ~ 2,800	道路	桜並木	歩行道公園	駐車場	120㎡(2室)	450㎡	適宜	200㎡	80㎡(2室)		120㎡	100㎡		100㎡	キッズ80㎡										適宜(吹抜)		40人					4人						適宜	80㎡適宜	40㎡									
研究会	予測課題1	1,800	50	36	2,800 ~ 3,200	商業	道路	道路	事務所	200㎡(2室)	400㎡	適宜		80㎡	200㎡	50㎡													適宜	300㎡		適宜	100㎡	50㎡		5人	適宜	適宜		適宜	適宜		適宜	適宜	50㎡	50㎡	1		1	10	8/13確定			
	予測課題2	1,800	50	36	2,100 ~ 2,500	道路	事務所	公園	道路	120㎡(2室)	10×25 10×10	適宜				200㎡	80㎡												適宜	適宜		100㎡(吹抜)	70㎡	70㎡		6人	30㎡			適宜	適宜		適宜	適宜	30㎡		1	10	2	10	8/27確定			
	予測課題3	1,820	52	35	2,600 ~ 3,000	道路	駐車場	公園	公園	140㎡(2室)	450㎡	30㎡	提案型 200㎡			100㎡													適宜			(健康プラザ内)			70㎡	400㎡	40㎡	適宜	50㎡	50㎡	適宜		適宜	適宜	30㎡	30㎡	1		1	20	9/10確定 B1有			

表2 計画の要点等(記述課題)の比較一覧表

は試験課題で出題された内容と研究会の予測課題の内容が類似したものを示す(細かい数値等の違いは類似したとしている)。

NO.	センターの試験課題(記述)	研究会の予測課題(記述)
(1)	温水プール室の計画(平面配置、設置階等)を踏まえ、温水プール室における自然採光の確保と空調用エネルギーの抑制を実現するために、ガラス面及び開口部の設置、平面計画、断面計画等について工夫したこと(2つ)	IV② 採用したパッシブデザインについて特に考慮したこと(3つ以上の手法)この課題において、太陽光パネル、太陽熱温水器はパッシブデザインに含まない。なお、【補足図記入欄①】にその考え方をイラストやシステム図等により補足してもよい。
(2)	エントランスホール及び1階から3階までの吹抜け並びにそれらの周囲の空間における自然採光の確保と空調用エネルギーの抑制を実現するために、ガラス面及び開口部の位置、平面計画、断面計画等について工夫したこと(2つ)	IV① 採用したパッシブデザインについて特に考慮したことを3つ具体的に記述する IV③ 建築物の環境負荷低減(熱負荷抑制、省エネルギー等)について設備方式(空調設備、給排水設備、電気設備)として配慮したこと(各3つ以上)
(3)	利用者の靴の履き替え等を考慮した、各部門のゾーニング及び動線計画について特に考慮したこと	I ① 利用者と職員等のアプローチ計画について考慮したこと I ⑤ ゾーニング計画について工夫したこと ⇒ただし、上履きの指定はなし
(4)	本建築物と隣地のカルチャーセンター等とを一体的に使用できるようにするために特に考慮したこと	無し ⇒カルチャーセンターの一角としての配置を予測できなかった。
(5)	温水プール室の構造計画(上部の床又は屋根の構造等)について特に考慮したこと	III⑤ 温水プールの構造計画について考慮したこと(2つ以上の構造計画)なお、【補足図記入欄③】にその考え方をイラストやシステム図等により補足してもよい。
(6)	多目的スポーツ室から発生する振動及び騒音に対して、上下階及び隣接する室への影響を抑制するために、特に考慮したこと	III⑥ スラブ及び小梁の架け方について工夫したこと ⇒解説の中で振動および遮音について解説あり。
(7)	地盤条件や経済性を踏まえた、支持層の考え方、採用した基礎構造とその基礎底面のレベルについて特に考慮したこと	III④ 採用した基礎方式と、その選定理由について考慮したこと
(8)	コンセプトルームについて、設計条件、特記事項等を勘案し、「使用方法」及び「設い」を提案すること	予測課題III(1)で注釈として「⇒各自の提案を書く問題です。昨年「コンセプトルーム」で新しく出題されたパターンです。」と記載あり。 (1)屋内運動室において各自が提案する運動内容の計画で工夫したこと。
(9)	防火区画(面積区画・堅穴区画)をどのように区画形成したかについて、具体的に記述すること	I (10/1追加解答) 防火区画に関する堅穴区画および面積区画について考慮したこと

注意:試験課題は、2018.10.22現在まだ公表されていない。本内容は、受験者からの聞き取り調査に基づき作成したものであり、試験課題と異なる場合があるので、参考として見て下さい。